

平成24年11月27日
大臣官房統計情報部
人口動態・保健社会統計課 保健統計室
室長 瀧村 佳代
室長補佐 岩崎 容子
(担当) 患者統計係(内線 7516, 7517)
(代表電話) 03 (5253) 1111
(直通電話) 03 (3595) 2958

平成 2 3 年
(2 0 1 1)

患者調査の概況

目 次

調査の概要	1 頁
結果の概要	3
1 推計患者数	
(1) 施設の種類・性・年齢階級別	3
(2) 傷病分類別	4
ア 入院患者	4
イ 外来患者	5
(3) 病床の種類別	6
(4) 在宅医療の状況	7
(5) 来院時の状況	7
(6) 入院(重症度等)の状況	8
2 受療率	
(1) 性・年齢階級別	9
(2) 傷病分類別	10
(3) 都道府県別	11
3 退院患者の平均在院日数等	
(1) 施設の種類・年齢階級別	12
(2) 傷病分類別	13
(3) 都道府県別	14
(4) 病床の種類別	15
(5) 手術前平均在院日数・手術後平均在院日数	16
4 主な傷病の総患者数	17
統計表 1～13	18
参考表	32
受療率の算出に用いた人口	36

平成23年患者調査の結果は厚生労働省のホームページにも掲載されています。
厚生労働省ホームページ(URL) (<http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/10-20.html>)

調 査 の 概 要

1 調査の目的

この調査は、病院及び診療所（以下「医療施設」という。）を利用する患者について、その傷病状況等の実態を明らかにし、医療行政の基礎資料を得ることを目的とした。

2 調査の対象及び客体

全国（宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除く。）の医療施設を利用する患者を対象とし、層化無作為により抽出した医療施設における患者を客体とした。

	施設数	抽出率	客 体 数	
			入院・外来	退 院
病 院	6,428	入院 7.6/10 , 外来 3.9/10	202.5 万人	101.0 万人
一般診療所	5,738	6.3/100	28.3 万人	1.0 万人
歯科診療所	1,257	1.9/100	2.7 万人	

注： 歯科診療所は、外来のみの調査である。

3 調査の期日

病院については、平成 23 年 10 月 18 日（火）～20 日（木）の 3 日間のうち病院ごとに指定した 1 日とし、診療所については、平成 23 年 10 月 18 日（火）～19 日（水）、21 日（金）（平成 17 年から休診の多い木曜日は除外した。）の 3 日間のうち診療所ごとに指定した 1 日とした。

また、退院患者については、平成 23 年 9 月 1 日～30 日までの 1 か月間とした。

4 調査事項

性別、出生年月日、患者の住所、入院・外来の種別、受療（診断・治療、検査、管理等の医療・保健サービスを受けること）の状況等

5 調査の方法及び系統

医療施設の管理者が記入する方式によった。

厚生労働省 —— 都道府県 —— 保健所 —— 医療施設
 └── 保健所設置市 ──┘
 特 別 区

6 結果の集計

厚生労働省大臣官房統計情報部において行った。

なお、医療施設に関する情報の一部は平成 23 年医療施設静態調査の結果を用いた。

7 用語の説明

(1) 推計患者数

調査日当日に、病院、一般診療所、歯科診療所で受療した患者の推計数である。

(2) 推計退院患者数

調査対象期間中（平成 23 年 9 月 1 日～30 日）に病院、一般診療所を退院した患者の推計数である。

(3) 退院患者の平均在院日数

調査対象期間中（平成 23 年 9 月 1 日～30 日）に退院した患者の在院日数の平均である。

(4) 受療率

推計患者数を人口 10 万対であらわした数である。

受療率（人口 10 万対）＝推計患者数／推計人口×100,000

(5) 総患者数（傷病別推計）

調査日現在において、継続的に医療を受けている者（調査日には医療施設で受療していない者を含む。）の数を次の算式により推計したものである。

総患者数＝入院患者数＋初診外来患者数＋（再来外来患者数×平均診療間隔×調整係数（6/7））

(6) 病床の種類

精神病床

精神疾患を有する者を入院させるための病床をいう。

感染症病床

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（平成 10 年法律第 114 号）に規定する一類感染症、二類感染症（結核を除く。）、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症並びに新感染症の患者を入院させるための病床をいう。

結核病床

結核の患者を入院させるための病床をいう。

療養病床

病院の病床（精神病床、感染症病床、結核病床を除く。）又は一般診療所の病床のうち主として長期にわたり療養を必要とする患者を入院させるための病床をいう。

一般病床

精神病床、感染症病床、結核病床、療養病床以外の病床をいう。

(7) 医療圏

本概況の医療圏とは、二次医療圏である。二次医療圏とは、医療法の規定により都道府県において設定される区域（概ね広域市町村圏）で、主として一般の入院医療を提供する病院の病床の整備を図るべき区域をいう。

8 利用上の注意

(1) 本調査における傷病は、世界保健機関（WHO）の「国際疾病、傷害および死因統計分類（ICD）」に基づき分類している。

なお、平成 23 年の調査では「国際疾病、傷害および死因統計分類（ICD-10（2003 年版）準拠）」を適用している。

(2) 表章記号の規約

計数のない場合	—
計数不明又は計数を表章する事が不適当な場合	…
統計項目のありえない場合	・
推計値、比率等でまるめた結果が表章すべき最下位の桁の 1 に達しない場合	0 又は 0.0

(3) 掲載の数値は、単位未満を四捨五入しているため、内訳の合計が総数に合わない場合もある。

(4) 人口 10 万対の算出に用いた人口は、総務省統計局「平成 23 年 10 月 1 日現在推計人口（総人口）」を基に厚生労働省大臣官房統計情報部において作成したものである。（36 頁「受療率の算出に用いた人口」）

(5) 傷病分類別の数値については、主傷病（※）について表章したものである。

※「主傷病」入院患者…調査日現在、入院の理由となっている傷病

外来患者…調査日現在、主として治療又は検査をしている傷病

退院患者…退院時に入院の理由となっていた傷病

(6) 今回の調査では、東日本大震災の影響により、宮城県の石巻医療圏（石巻市、東松島市、女川町）、気仙沼医療圏（気仙沼市、南三陸町）及び福島県の医療施設については調査を実施していないため、集計した数値はこれらの地域を除いたものである。

なお、前回（平成 20 年）の結果について、同地域を除いた数値を比較の参考として「参考表」（32～35 頁）に掲載している。

結 果 の 概 要

1 推計患者数

調査日に全国（宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除く。）の医療施設で受療した推計患者数は、「入院」1,341.0千人、「外来」7,260.5千人である。

(1) 施設の種類の性別・年齢階級別

「入院」1,341.0千人について、施設の種類の別みると「病院」1,290.1千人、「一般診療所」50.9千人、性別にみると「男」613.6千人、「女」727.5千人、年齢階級別にみると「65歳以上」914.9千人、「75歳以上」661.6千人となっている。

「外来」7,260.5千人について、施設の種類の別みると「病院」1,659.2千人、「一般診療所」4,238.8千人、「歯科診療所」1,362.5千人、性別にみると「男」3,062.5千人、「女」4,198.0千人、年齢階級別にみると「65歳以上」3,329.9千人、「75歳以上」1,829.9千人となっている。

（表1、統計表1、2）

表1 年齢階級別にみた施設の種類の推計患者数

（単位：千人）

平成23年10月

性 年齢階級	入 院			外 来			
	総 数	病 院	一 般 診 療 所	総 数	病 院	一 般 診 療 所	歯 科 診 療 所
総 数	1 341.0	1 290.1	50.9	7 260.5	1 659.2	4 238.8	1 362.5
男	613.6	597.4	16.2	3 062.5	765.9	1 713.6	583.0
女	727.5	692.7	34.8	4 198.0	893.3	2 525.2	779.5
0 歳	10.9	10.5	0.4	75.7	14.3	61.3	0.1
1 ～ 4	7.3	7.2	0.1	291.9	36.2	235.1	20.6
5 ～ 9	5.6	5.5	0.1	253.0	28.2	166.2	58.5
10 ～ 14	5.7	5.6	0.0	169.1	22.0	117.1	29.9
15 ～ 19	7.5	7.3	0.2	120.2	19.8	75.8	24.6
20 ～ 24	11.6	10.8	0.8	141.8	28.8	81.0	32.0
25 ～ 29	18.0	15.8	2.2	192.4	41.1	107.9	43.4
30 ～ 34	24.2	21.8	2.4	241.0	53.0	130.2	57.9
35 ～ 39	29.9	28.2	1.7	304.9	68.2	157.1	79.6
40 ～ 44	31.9	31.2	0.6	311.7	71.2	160.1	80.4
45 ～ 49	36.1	35.6	0.5	301.6	72.2	151.2	78.2
50 ～ 54	46.3	45.5	0.8	343.2	83.0	171.0	89.2
55 ～ 59	69.6	68.3	1.3	441.7	110.3	219.5	111.9
60 ～ 64	118.5	116.1	2.4	708.2	178.1	369.1	161.0
65 ～ 69	111.7	109.1	2.6	680.5	169.7	371.4	139.5
70 ～ 74	141.6	137.5	4.0	819.5	202.1	476.5	140.9
75 ～ 79	176.1	170.5	5.6	804.1	197.2	497.4	109.4
80 ～ 84	189.5	181.2	8.3	591.0	151.6	374.0	65.4
85 ～ 89	158.3	150.0	8.2	302.9	77.0	199.2	26.7
90歳以上	137.7	129.4	8.3	131.9	32.2	91.9	7.8
不 詳	3.2	3.0	0.2	34.3	3.1	25.7	5.4
（再 掲）							
65歳以上	914.9	877.7	37.2	3 329.9	829.7	2 010.4	489.8
70歳以上	803.1	768.6	34.5	2 649.4	660.0	1 639.1	350.3
75歳以上	661.6	631.0	30.5	1 829.9	457.9	1 162.6	209.4

注：宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。平成20年の同地域を除いた数値は、32頁の参考表1に掲載している。

(2) 傷病分類別

ア 入院患者

入院患者を傷病分類別にみると、多い順に、「V 精神及び行動の障害」282.3千人、「IX 循環器系の疾患」251.3千人、「II 新生物」150.6千人となっている。

病院では、「V 精神及び行動の障害」280.6千人、「IX 循環器系の疾患」241.6千人、「II 新生物」147.8千人の順となっている。一般診療所では、「IX 循環器系の疾患」9.6千人、「XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響」6.7千人、「XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患」5.0千人の順となっている。(表2、統計表3、4)

表2 傷病分類別にみた施設の種別別推計入院患者数

(単位：千人) 平成23年10月

傷病分類	総数	病院	一般診療所
総数	1 341.0	1 290.1	50.9
I 感染症及び寄生虫症	22.4	21.8	0.6
結核 (再掲)	3.9	3.9	0.0
ウイルス肝炎 (再掲)	1.5	1.4	0.1
II 新生物	150.6	147.8	2.7
胃の悪性新生物 (再掲)	14.9	14.7	0.2
結腸及び直腸の悪性新生物 (再掲)	19.2	18.8	0.5
肝及び肝内胆管の悪性新生物 (再掲)	7.9	7.7	0.1
気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	19.3	19.2	0.2
乳房の悪性新生物 (再掲)	5.5	5.5	0.1
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	6.5	6.3	0.3
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	36.0	34.2	1.8
糖尿病 (再掲)	23.9	22.6	1.3
高脂血症 (再掲)	0.4	0.3	0.1
V 精神及び行動の障害	282.3	280.6	1.7
血管性及び詳細不明の認知症 (再掲)	39.0	38.3	0.7
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 (再掲)	174.1	174.1	0.1
VI 神経系の疾患	114.9	111.6	3.3
アルツハイマー病 (再掲)	41.0	39.5	1.5
VII 眼及び付属器の疾患	11.9	10.5	1.4
VIII 耳及び乳様突起の疾患	2.7	2.6	0.1
IX 循環器系の疾患	251.3	241.6	9.6
高血圧性疾患 (再掲)	7.1	5.9	1.2
心疾患 (高血圧性のものを除く) (再掲)	58.1	56.1	2.0
脳血管疾患 (再掲)	172.2	166.4	5.8
X 呼吸器系の疾患	89.7	86.1	3.6
喘息 (再掲)	4.4	4.1	0.3
X I 消化器系の疾患	64.3	62.3	2.1
う蝕 (再掲)	0.1	0.1	-
歯肉炎及び歯周疾患 (再掲)	0.1	0.1	-
食道、胃及び十二指腸の疾患 (再掲)	8.0	7.6	0.4
肝疾患 (再掲)	8.7	8.2	0.5
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	15.8	15.4	0.4
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	63.1	58.2	5.0
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	47.6	43.5	4.2
X V 妊娠、分娩及び産じょく	17.6	13.4	4.2
X VI 周産期に発生した病態	6.6	6.3	0.3
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	5.8	5.8	0.1
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	18.6	17.4	1.3
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	124.8	118.1	6.7
骨折 (再掲)	85.6	80.5	5.1
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	8.3	6.6	1.8

注：宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。平成20年の同地域を除いた数値は、33頁の参考表2に掲載している。

イ 外来患者

外来患者を傷病分類別にみると、多い順に「XI 消化器系の疾患」1,300.3千人、「XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患」1,001.8千人、「IX 循環器系の疾患」948.3千人となっている。

病院では、「IX 循環器系の疾患」250.7千人、「XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患」189.3千人、「II 新生物」177.0千人の順となっている。一般診療所では、「XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患」812.5千人、「IX 循環器系の疾患」697.6千人、「X 呼吸器系の疾患」606.2千人の順となっている。(表3、統計表5、6)

表3 傷病分類別にみた施設の種別推計外来患者数

(単位：千人) 平成23年10月

傷病分類	総数	病院	一般診療所	歯科診療所
総数	7 260.5	1 659.2	4 238.8	1 362.5
I 感染症及び寄生虫症	169.9	42.5	127.4	.
結核 (再掲)	2.0	1.8	0.2	.
ウイルス肝炎 (再掲)	33.2	15.4	17.8	.
II 新生物	219.9	177.0	42.9	.
胃の悪性新生物 (再掲)	19.2	15.4	3.9	.
結腸及び直腸の悪性新生物 (再掲)	24.0	20.4	3.6	.
肝及び肝内胆管の悪性新生物 (再掲)	6.1	4.5	1.6	.
気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	15.4	13.4	1.9	.
乳房の悪性新生物 (再掲)	24.2	21.6	2.6	.
III 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	22.3	10.5	11.8	.
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	414.4	124.4	290.0	.
糖尿病 (再掲)	208.5	77.9	130.6	.
高脂血症 (再掲)	148.7	22.3	126.4	.
V 精神及び行動の障害	221.2	112.4	108.8	.
血管性及び詳細不明の認知症 (再掲)	12.3	3.8	8.5	.
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 (再掲)	60.6	44.8	15.8	.
VI 神経系の疾患	149.8	67.9	81.9	.
アルツハイマー病 (再掲)	32.3	12.0	20.2	.
VII 眼及び付属器の疾患	294.1	59.4	234.7	.
VIII 耳及び乳様突起の疾患	114.7	16.2	98.5	.
IX 循環器系の疾患	948.3	250.7	697.6	.
高血圧性疾患 (再掲)	663.5	110.3	553.3	.
心疾患 (高血圧性のものを除く) (再掲)	134.1	70.2	63.9	.
脳血管疾患 (再掲)	111.6	51.8	59.9	.
X 呼吸器系の疾患	708.0	101.8	606.2	.
喘息 (再掲)	129.7	27.3	102.3	.
X I 消化器系の疾患	1 300.3	121.8	160.3	1 018.2
う蝕 (再掲)	314.3	4.7	1.9	307.7
歯肉炎及び歯周疾患 (再掲)	400.5	5.4	3.1	391.9
食道、胃及び十二指腸の疾患 (再掲)	126.6	39.3	87.2	.
肝疾患 (再掲)	41.6	13.1	28.6	.
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	254.0	47.9	206.1	.
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	1 001.8	189.3	812.5	.
X IV 腎尿路生殖系系の疾患	266.0	103.8	162.2	.
X V 妊娠、分娩及び産じょく	13.9	6.7	7.2	.
X VI 周産期に発生した病態	2.6	2.2	0.3	.
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	11.4	9.1	2.3	.
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	83.7	37.1	46.5	.
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	317.6	102.0	212.8	2.8
骨折 (再掲)	96.7	38.6	58.1	.
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	746.5	76.5	328.6	341.5

注：宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。平成20年の同地域を除いた数値は、33頁の参考表2に掲載している。

(3) 病床の種類別

入院患者を病床の種類別にみると、病院では、「精神病床」293.4千人、「療養病床」286.6千人、「一般病床」707.2千人、一般診療所では、「療養病床」12.7千人となっている。

これを傷病分類別にみると、病院の一般病床では、「II 新生物」138.7千人、「IX 循環器系の疾患」114.5千人、療養病床では、「IX 循環器系の疾患」125.8千人、「VI 神経系の疾患」35.5千人が多くなっている。(表4)

表4 傷病分類別にみた病床の種類別推計入院患者数

(単位：千人) 平成23年10月

傷病分類	総数	病院						一般診療所	療養病床(再掲)
		精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床			
総数	1 341.0	1 290.1	293.4	0.1	2.9	286.6	707.2	50.9	12.7
I 感染症及び寄生虫症	22.4	21.8	0.3	0.0	2.6	1.7	17.2	0.6	0.0
結核 (再掲)	3.9	3.9	0.0	-	2.5	0.3	1.0	0.0	0.0
ウイルス肝炎 (再掲)	1.5	1.4	-	0.0	-	0.2	1.2	0.1	0.0
II 新生物	150.6	147.8	0.2	0.0	0.1	8.9	138.7	2.7	0.6
胃の悪性新生物 (再掲)	14.9	14.7	0.0	0.0	0.0	1.1	13.6	0.2	0.1
結腸及び直腸の悪性新生物 (再掲)	19.2	18.8	0.0	-	0.0	1.3	17.4	0.5	0.1
肝及び肝内胆管の悪性新生物 (再掲)	7.9	7.7	0.0	-	-	0.4	7.3	0.1	-
気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	19.3	19.2	0.0	-	0.0	0.9	18.2	0.2	0.1
乳房の悪性新生物 (再掲)	5.5	5.5	0.0	-	0.0	0.3	5.2	0.1	0.0
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	6.5	6.3	0.0	-	0.0	0.6	5.6	0.3	0.1
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	36.0	34.2	0.4	-	0.0	11.4	22.4	1.8	0.4
糖尿病 (再掲)	23.9	22.6	0.1	-	0.0	9.2	13.3	1.3	0.4
高脂血症 (再掲)	0.4	0.3	0.0	-	-	0.1	0.2	0.1	0.0
V 精神及び行動の障害	282.3	280.6	256.9	-	0.0	16.9	6.8	1.7	0.8
血管性及び詳細不明の認知症 (再掲)	39.0	38.3	25.9	-	-	11.4	1.0	0.7	0.6
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 (再掲)	174.1	174.1	171.7	-	0.0	1.7	0.7	0.1	0.0
VI 神経系の疾患	114.9	111.6	31.9	-	0.0	35.5	44.2	3.3	1.8
アルツハイマー病 (再掲)	41.0	39.5	27.5	-	-	10.6	1.4	1.5	0.8
VII 眼及び付属器の疾患	11.9	10.5	0.0	-	0.0	0.1	10.4	1.4	0.0
VIII 耳及び乳様突起の疾患	2.7	2.6	0.0	-	-	0.1	2.6	0.1	-
IX 循環器系の疾患	251.3	241.6	1.3	0.0	0.0	125.8	114.5	9.6	4.1
高血圧性疾患 (再掲)	7.1	5.9	0.1	-	-	3.4	2.4	1.2	0.4
心疾患(高血圧性のものを除く) (再掲)	58.1	56.1	0.1	-	0.0	13.6	42.4	2.0	0.6
脳血管疾患 (再掲)	172.2	166.4	1.0	0.0	0.0	107.2	58.2	5.8	3.0
X 呼吸器系の疾患	89.7	86.1	0.2	0.0	0.1	17.0	68.8	3.6	0.6
喘息 (再掲)	4.4	4.1	0.0	0.0	0.0	0.7	3.4	0.3	0.0
X I 消化器系の疾患	64.3	62.3	0.2	0.0	0.0	5.0	57.1	2.1	0.2
う蝕 (再掲)	0.1	0.1	-	-	-	0.0	0.1	-	-
歯肉炎及び歯周疾患 (再掲)	0.1	0.1	-	-	-	0.0	0.1	-	-
食道、胃及び十二指腸の疾患 (再掲)	8.0	7.6	0.0	-	0.0	1.0	6.6	0.4	0.1
肝疾患 (再掲)	8.7	8.2	0.0	0.0	-	1.3	6.9	0.5	0.1
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	15.8	15.4	0.0	-	0.0	2.9	12.5	0.4	0.0
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	63.1	58.2	0.1	-	0.0	14.2	43.8	5.0	1.4
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	47.6	43.5	0.1	0.0	0.0	10.1	33.2	4.2	0.9
X V 妊娠、分娩及び産じょく	17.6	13.4	-	-	-	0.0	13.4	4.2	-
X VI 周産期に発生した病態	6.6	6.3	-	-	-	0.0	6.3	0.3	-
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	5.8	5.8	0.1	-	-	0.4	5.2	0.1	-
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	18.6	17.4	0.7	0.0	0.0	3.6	13.0	1.3	0.3
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	124.8	118.1	0.9	0.0	0.0	30.2	87.0	6.7	1.4
骨折 (再掲)	85.6	80.5	0.1	-	-	19.6	60.7	5.1	1.2
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	8.3	6.6	0.0	-	-	2.0	4.5	1.8	0.0

注：宮城県の上巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。

(4) 在宅医療の状況

調査日に在宅医療を受けた推計外来患者数は110.7千人であり、これを施設の種類別にみると、「病院」15.3千人、「一般診療所」78.9千人、「歯科診療所」16.5千人となっている。

在宅医療の種類別にみると、総数では「往診」35.7千人、「訪問診療」67.2千人、「医師・歯科医師以外の訪問」7.8千人となっている。（表5）

表5 年齢階級別にみた在宅医療を受けた推計外来患者数

(単位：千人) 平成23年10月

年齢階級	推計外来患者総数	(総 数)				(病 院)				(一般診療所)				(歯科診療所)		
		在宅医療	往診	訪問診療	医師・歯科医師以外の訪問	在宅医療	往診	訪問診療	医師・歯科医師以外の訪問	在宅医療	往診	訪問診療	医師以外の訪問	在宅医療	訪問診療	歯科医師以外の訪問
総 数	7 260.5	110.7	35.7	67.2	7.8	15.3	6.5	6.3	2.6	78.9	29.2	46.5	3.2	16.5	14.4	2.1
0～14歳	789.7	1.0	0.8	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.9	0.7	0.1	0.0	0.0	0.0	-
15～34	695.3	2.5	1.3	1.0	0.3	0.9	0.7	0.1	0.2	1.0	0.6	0.2	0.1	0.7	0.7	0.0
35～64	2 411.3	13.2	5.2	6.2	1.8	3.8	2.0	0.6	1.2	6.4	3.2	2.8	0.3	3.1	2.8	0.3
65歳以上	3 329.9	93.7	28.2	59.8	5.7	10.6	3.8	5.6	1.2	70.5	24.5	43.3	2.7	12.7	10.9	1.8
(再掲)																
70歳以上	2 649.4	89.8	27.1	57.5	5.3	9.9	3.5	5.4	1.0	67.8	23.6	41.7	2.6	12.1	10.4	1.7
75歳以上	1 829.9	82.9	25.1	53.4	4.5	9.0	3.1	5.1	0.8	63.2	22.0	39.0	2.3	10.7	9.3	1.4

- 注：1) 総数には、年齢不詳を含む。
 2) 「往診」とは、患者（介護老人保健施設等を含む）の求めに応じて患者に赴いて診療するものをいう。
 3) 「訪問診療」とは、医科においては、居宅において療養を行っている患者であって、通院が困難な者に対して、その同意を得て計画的な医学管理の下に、定期的に医師が訪問して診療を行うものをいい、歯科においては、歯科医師が患者（介護老人保健施設等を含む）に赴いて診療を行うものをいう。
 4) 「医師・歯科医師以外の訪問」「医師以外の訪問」及び「歯科医師以外の訪問」とは、居宅において療養を行っている患者であって、通院が困難な者に対して、その同意を得て計画的な医学管理の下に、定期的に当該職種以外の者が訪問して実施されるものをいう。
 5) 宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。平成20年の同地域を除いた年齢階級「総数」の数値は、33頁の参考表3に掲載している。

(5) 来院時の状況

来院時の状況をみると、救急の受診による推計患者数は、「入院」270.3千人（入院総数に対する割合20.2%）、「外来」45.7千人（外来総数に対する割合0.8%）となっている。

これを施設の種類別にみると、入院では、「病院」263.4千人、「一般診療所」6.9千人であり、それぞれの総数に対する割合は、20.4%、13.6%となっている。外来では、「病院」37.1千人、「一般診療所」8.6千人であり、それぞれの総数に対する割合は、2.2%、0.2%となっている。

また、救急の受診の状況別にみると、救急車により搬送された推計患者数は、「入院」138.6千人（入院「救急の受診」に対する割合51.3%）、「外来」15.3千人（外来「救急の受診」に対する割合33.4%）となっている。（表6）

表6 来院時の状況別にみた推計患者数

平成23年10月

来院時の状況	推 計 患 者 数 (単位：千人)						構 成 割 合 (単位：%)					
	入 院			外 来			入 院			外 来		
	総数	病院	一 般 診療所	総数	病院	一 般 診療所	総数	病院	一 般 診療所	総数	病院	一 般 診療所
総 数	1 341.0	1 290.1	50.9	5 898.0	1 659.2	4 238.8	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
通 常 の 受 診	1 070.7	1 026.7	44.0	5 852.3	1 622.1	4 230.2	79.8	79.6	86.4	99.2	97.8	99.8
救 急 の 受 診	270.3	263.4	6.9	45.7	37.1	8.6	20.2 (100.0)	20.4 (100.0)	13.6 (100.0)	0.8 (100.0)	2.2 (100.0)	0.2 (100.0)
救急車により搬送	138.6	137.1	1.6	15.3	13.2	2.1	(51.3)	(52.0)	(22.9)	(33.4)	(35.6)	(24.0)
診療時間内の受診	71.1	69.9	1.2	7.3	5.9	1.4	(26.3)	(26.5)	(17.8)	(16.1)	(15.9)	(16.8)
診療時間外の受診	67.5	67.2	0.4	7.9	7.3	0.6	(25.0)	(25.5)	(5.1)	(17.4)	(19.7)	(7.2)
徒歩や自家用車等による救急の受診	131.7	126.3	5.3	30.4	23.9	6.5	(48.7)	(48.0)	(77.1)	(66.6)	(64.4)	(76.0)
診療時間内の受診	80.1	76.9	3.2	12.5	7.8	4.7	(29.6)	(29.2)	(45.8)	(27.4)	(21.2)	(54.3)
診療時間外の受診	51.6	49.4	2.2	17.9	16.0	1.9	(19.1)	(18.8)	(31.3)	(39.2)	(43.2)	(21.6)

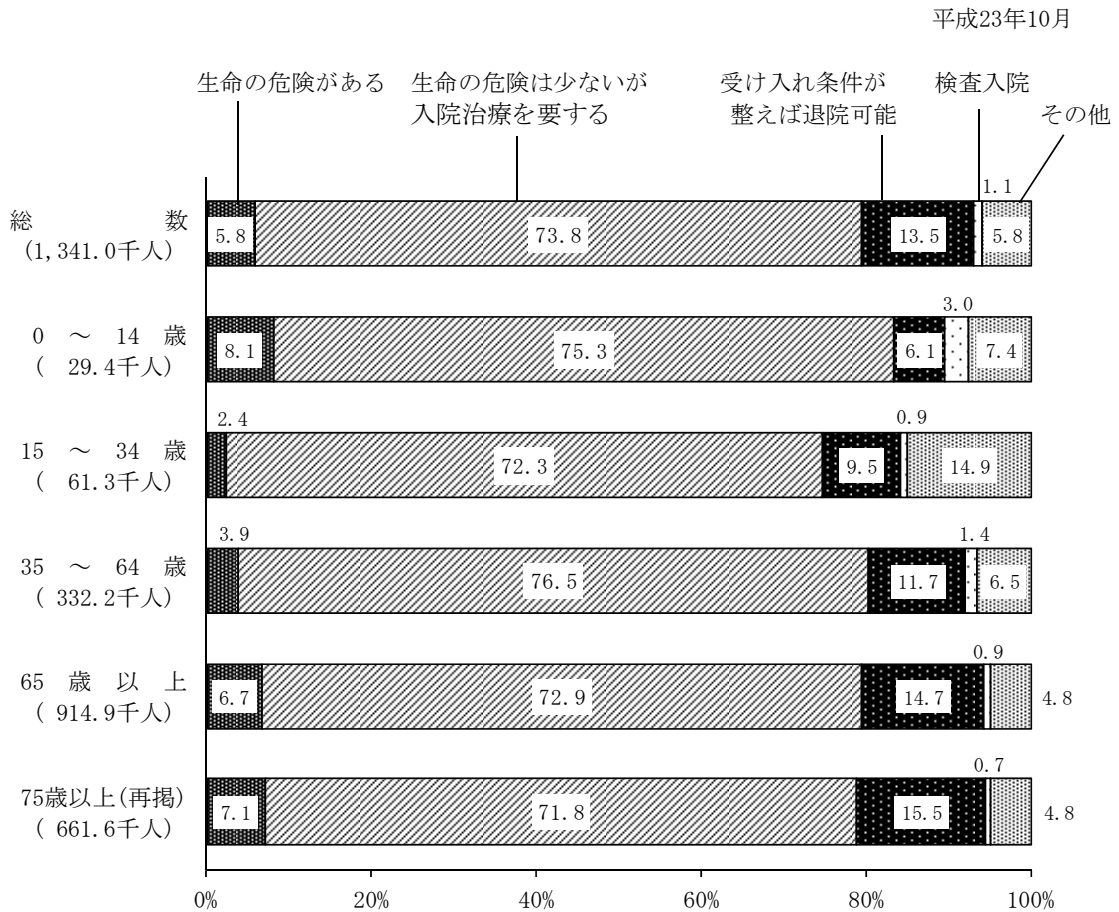
- 注：1) 外来には、歯科診療所の推計患者数は含まれていない。
 2) 「救急車により搬送」とは、救急車で搬送され受診したものをいう。
 3) 「徒歩や自家用車等による救急の受診」とは、徒歩や自家用車等で来院し、救急で受診したものをいう。
 4) 「診療時間内の受診」、「診療時間外の受診」とは、医療施設が表示する診療時間内、外に受診したものをいう。
 5) 宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。

(6) 入院（重症度等）の状況

入院（重症度等）の状況を見ると、「生命の危険がある」5.8%、「生命の危険は少ないが入院治療を要する」73.8%、「受け入れ条件が整えば退院可能」13.5%、「検査入院」1.1%となっている。「受け入れ条件が整えば退院可能」は年齢階級が上がるに従い多くなっている。

(図1)

図1 年齢階級別にみた入院（重症度等）の状況別推計入院患者数の構成割合



- 注：1) 「生命の危険がある」とは、生命の危険がある重篤な患者をいう。
 2) 「生命の危険は少ないが入院治療を要する」には、退院が決定している患者を含む。
 3) 「受け入れ条件が整えば退院可能」とは、退院は決まっていないが退院可能な状態にある患者をいう。
 4) 「検査入院」とは、検査のために入院した患者をいい、健康な者に対する一般的検査のための入院患者を含む。
 5) 「その他」とは、上記1)～4)以外の入院患者をいう。
 6) () 内は、推計入院患者数である。
 7) 宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。

2 受療率

全国（宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除く。）の受療率（人口10万対）は、「入院」1,068、「外来」5,784である。

(1) 性・年齢階級別

性別にみると、入院では「男」1,005、「女」1,129となっており、外来では「男」5,014、「女」6,514となっている。年齢階級別にみると、入院では、「10～14歳」が98と最も低く、年齢階級が上がるほど高くなっている。外来では、「15～19歳」が2,017と最も低く、「80～84歳」が13,457と最も高くなっている。（表7、統計表8）

表7 性・年齢階級別に見た受療率（人口10万対）

平成23年10月

年齢階級	入 院			外 来		
	総 数	男	女	総 数	男	女
総 数	1 068	1 005	1 129	5 784	5 014	6 514
0 歳	1 036	1 089	980	7 193	7 499	6 871
1 ～ 4	175	188	161	7 009	7 225	6 778
5 ～ 9	103	113	93	4 692	4 819	4 562
10 ～ 14	98	108	87	2 916	2 951	2 880
15 ～ 19	125	131	120	2 017	1 746	2 302
20 ～ 24	186	167	205	2 260	1 684	2 861
25 ～ 29	254	185	324	2 708	1 874	3 569
30 ～ 34	304	224	387	3 026	2 117	3 961
35 ～ 39	313	282	344	3 187	2 341	4 057
40 ～ 44	347	380	314	3 397	2 719	4 091
45 ～ 49	461	519	402	3 852	3 284	4 425
50 ～ 54	619	735	501	4 585	3 837	5 330
55 ～ 59	854	1 028	682	5 421	4 685	6 144
60 ～ 64	1 135	1 377	902	6 786	6 157	7 392
65 ～ 69	1 445	1 737	1 179	8 802	8 086	9 463
70 ～ 74	2 007	2 301	1 754	11 617	10 844	12 293
75 ～ 79	2 927	3 236	2 686	13 363	12 790	13 803
80 ～ 84	4 314	4 508	4 189	13 457	13 367	13 516
85 ～ 89	6 170	6 138	6 188	11 809	12 437	11 526
90 歳以上	9 733	8 909	9 965	9 322	10 928	8 869
(再 掲)						
65 歳以上	3 136	3 052	3 199	11 414	10 891	11 805
70 歳以上	3 745	3 607	3 841	12 355	12 076	12 549
75 歳以上	4 598	4 389	4 725	12 717	12 816	12 657

注：1）総数には、年齢不詳を含む。

2）宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。

平成20年の同地域を除いた数値は、34頁の参考表4に掲載している。

(2) 傷病分類別

傷病分類別にみると、入院では、高い順に「V 精神及び行動の障害」225、「IX 循環器系の疾患」200、「II 新生物」120となっており、外来では、「XI 消化器系の疾患」1,036、「XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患」798、「IX 循環器系の疾患」755となっている（表8、統計表9、10）。

表8 傷病分類別にみた受療率（人口10万対）

平成23年10月

傷病分類	入院			外来		
	総数	男	女	総数	男	女
総数	1 068	1 005	1 129	5 784	5 014	6 514
I 感染症及び寄生虫症	18	19	17	135	126	144
結核（再掲）	3	4	2	2	2	1
ウイルス肝炎（再掲）	1	1	1	26	27	26
II 新生物	120	139	102	175	165	185
胃の悪性新生物（再掲）	12	16	8	15	21	10
結腸及び直腸の悪性新生物（再掲）	15	18	13	19	22	16
肝及び肝内胆管の悪性新生物（再掲）	6	9	4	5	6	3
気管、気管支及び肺の悪性新生物（再掲）	15	22	9	12	16	9
乳房の悪性新生物（再掲）	4	0	8	19	0	37
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	5	4	6	18	9	26
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	29	25	32	330	282	375
糖尿病（再掲）	19	18	20	166	185	148
高脂血症（再掲）	0	0	0	118	69	165
V 精神及び行動の障害	225	225	224	176	162	189
血管性及び詳細不明の認知症（再掲）	31	23	39	10	5	14
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害（再掲）	139	145	133	48	53	44
VI 神経系の疾患	92	77	105	119	102	136
アルツハイマー病（再掲）	33	20	44	26	14	37
VII 眼及び付属器の疾患	10	8	11	234	174	292
VIII 耳及び乳様突起の疾患	2	2	3	91	78	104
IX 循環器系の疾患	200	179	220	755	676	831
高血圧性疾患（再掲）	6	3	8	529	437	615
心疾患（高血圧性のものを除く）（再掲）	46	43	50	107	116	98
脳血管疾患（再掲）	137	121	152	89	91	87
X 呼吸器系の疾患	71	79	64	564	548	579
喘息（再掲）	3	3	4	103	105	102
X I 消化器系の疾患	51	56	46	1 036	914	1 152
う蝕（再掲）	0	0	0	250	222	278
歯肉炎及び歯周疾患（再掲）	0	0	0	319	269	367
食道、胃及び十二指腸の疾患（再掲）	6	7	6	101	86	115
肝疾患（再掲）	7	8	6	33	35	32
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	13	12	13	202	182	222
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	50	36	64	798	594	991
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	38	37	38	212	205	219
X V 妊娠、分娩及び産じょく	14	・	27	11	・	22
X VI 周産期に発生した病態	5	5	5	2	2	2
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	5	5	4	9	9	9
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	15	12	17	67	56	77
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	99	78	120	253	259	248
骨折（再掲）	68	40	95	77	66	87
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	7	3	10	595	471	712

注：宮城県の上巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。平成20年の同地域を除いた数値は、34頁の参考表5に掲載している。

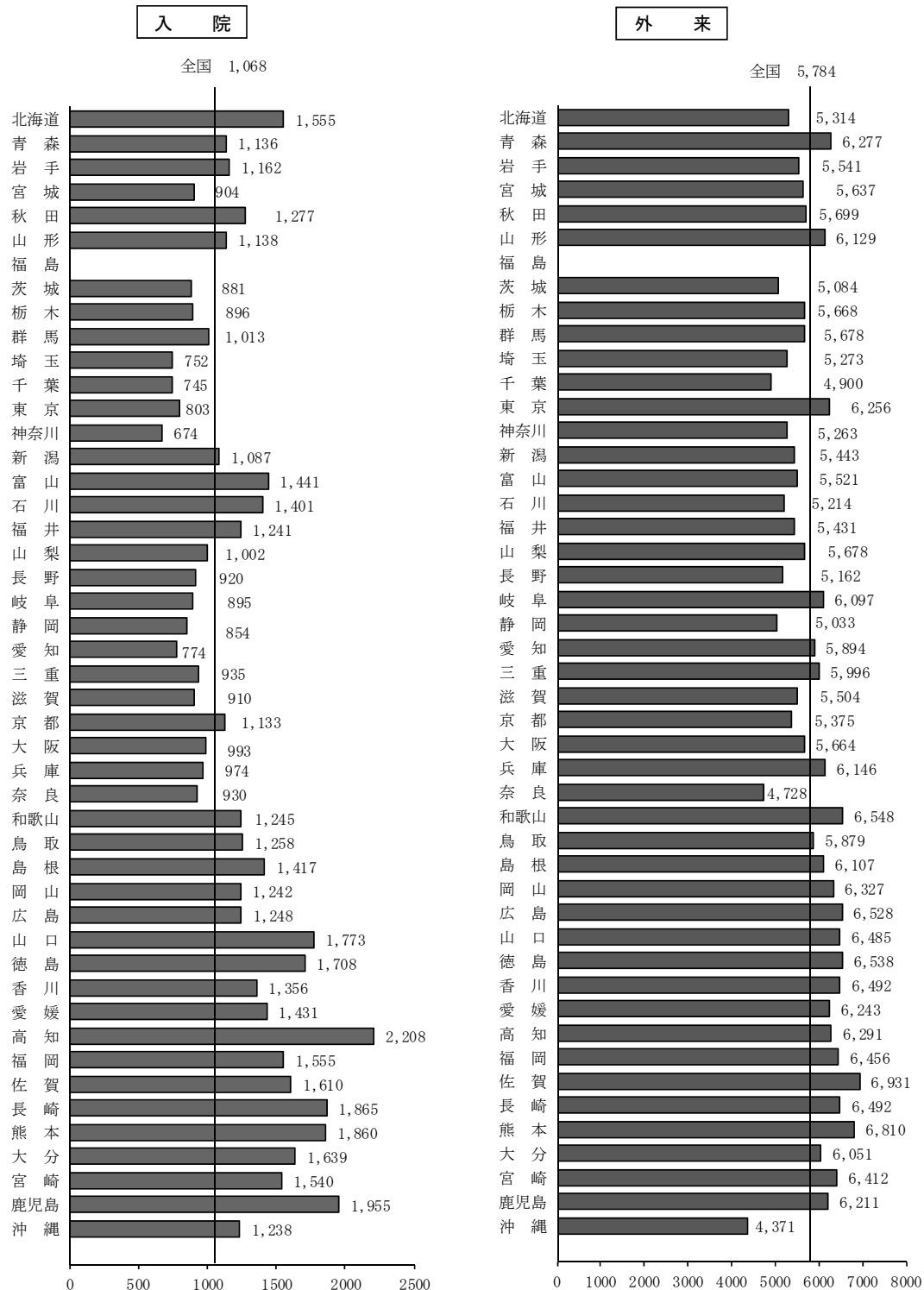
(3) 都道府県別

都道府県（患者住所地）別にみると、入院では、「高知」が 2,208 と最も高く、次いで「鹿児島」1,955、「長崎」1,865 となっている。また、「神奈川」が 674 と最も低く、次いで「千葉」745、「埼玉」752 となっている。

外来では、「佐賀」が 6,931 と最も高く、次いで「熊本」6,810、「和歌山」6,548 となっている。また、「沖縄」が 4,371 と最も低く、次いで「奈良」4,728、「千葉」4,900 となっている。（図 2）

図 2 都道府県（患者住所地）別にみた受療率（人口 10 万対）

平成 23 年 10 月



注：1) 都道府県別受療率は、患者の住所地別に算出したものである。
 2) 宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。

3 退院患者の平均在院日数等

(1) 施設の種類・年齢階級別

平成23年9月中に退院した全国（宮城県、石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除く。）の推計患者について、在院日数の平均である平均在院日数を施設の種類別にみると、「病院」34.3日、「一般診療所」17.5日となっている（表9）。

年齢階級別にみると、年齢階級が上がるに従い退院患者の平均在院日数は長くなる傾向にある（図3、統計表11）。

表9 施設の種類の別みた退院患者の平均在院日数

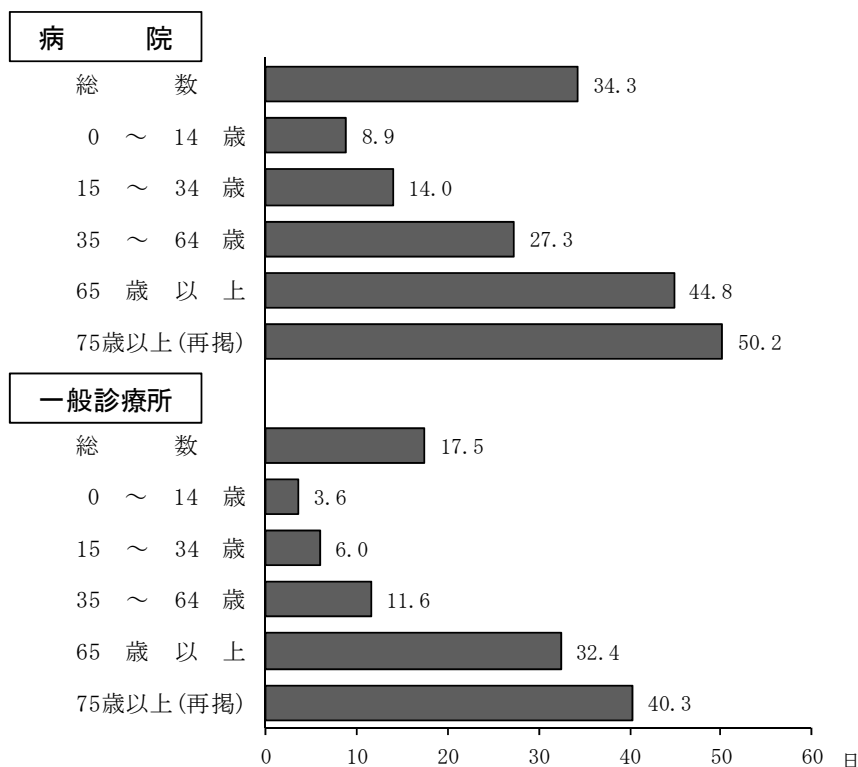
（単位：日） 平成23年9月

施設の種類	退院患者の平均在院日数
総 数	32.8
病 院	34.3
一般診療所	17.5

注：1）平成23年9月1日～30日に退院した者を対象としたものである。

2）宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。平成20年の同地域を除いた数値は、34頁の参考表6に掲載している。

図3 年齢階級別にみた退院患者の平均在院日数



注：1）平成23年9月1日～30日に退院した者を対象としたものである。

2）宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。平成20年の同地域を除いた数値は、35頁の参考表7に掲載している。

(2) 傷病分類別

退院患者の平均在院日数を傷病分類別にみると、長い順に「V 精神及び行動の障害」296.1日、「VI 神経系の疾患」76.2日、「IX 循環器系の疾患」45.3日となっている(表10、統計表12)。

表10 傷病分類別にみた年齢階級別退院患者の平均在院日数

平成23年9月

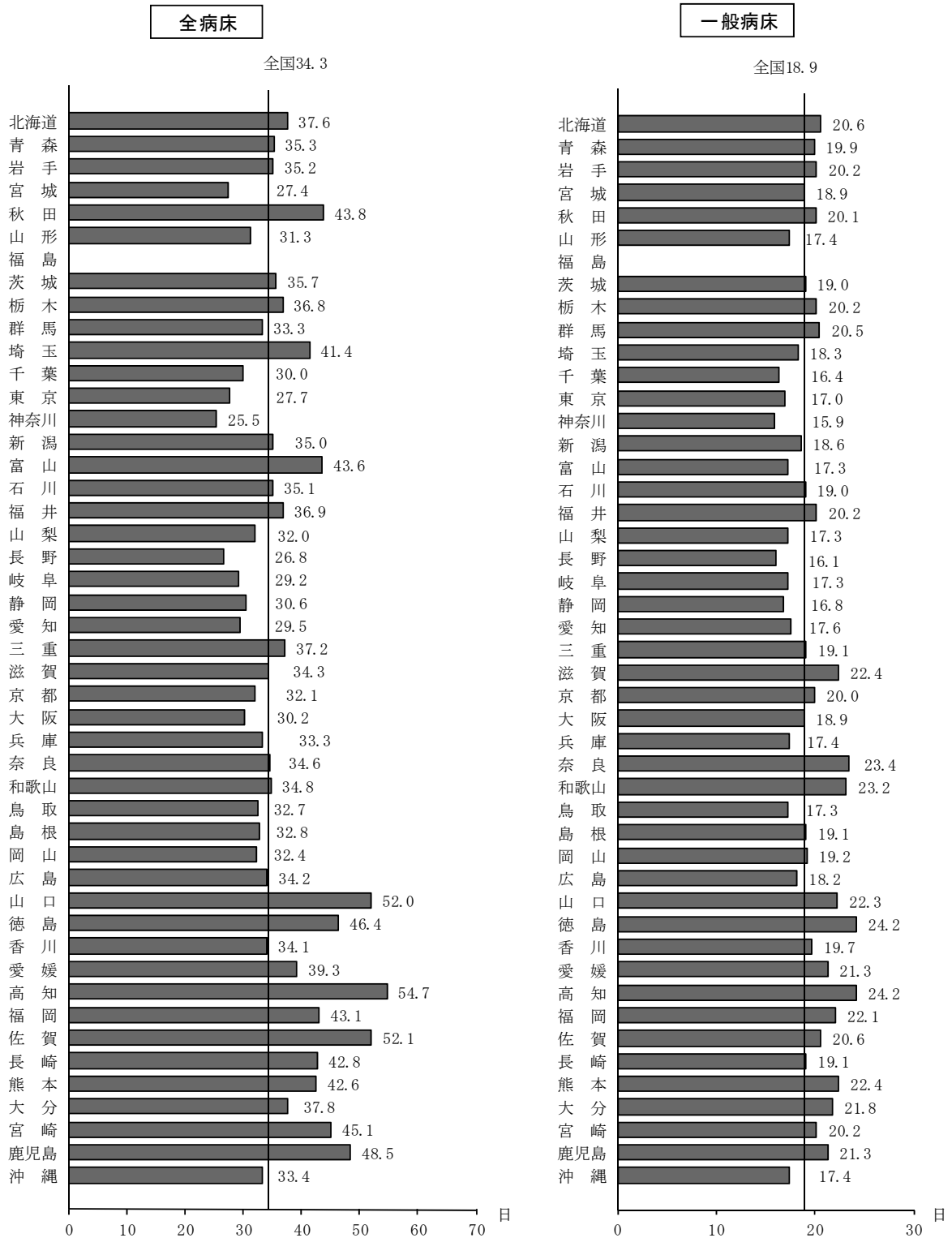
傷病分類		総数	男	女	0～14歳	15～34	35～64	65歳以上	70歳以上 (再掲)	75歳以上 (再掲)
総数		32.8	31.3	34.2	8.5	12.1	26.2	44.0	46.2	49.5
I	感染症及び寄生虫症	20.5	22.6	18.5	4.9	8.2	16.3	32.4	33.8	36.2
	結核 (再掲)	65.4	69.7	58.9	11.9	44.8	62.9	68.9	70.6	72.5
	ウイルス肝炎 (再掲)	15.4	16.3	14.3	6.1	12.7	12.8	21.6	22.0	26.4
II	新生物	19.5	19.5	19.6	19.7	15.7	15.1	22.4	23.8	26.5
	胃の悪性新生物 (再掲)	22.6	21.2	26.0	18.6	13.3	16.2	25.3	26.6	29.7
	結腸及び直腸の悪性新生物 (再掲)	17.5	15.0	21.1	11.2	13.6	12.3	20.4	22.9	27.2
	肝及び肝内胆管の悪性新生物 (再掲)	18.6	17.5	21.2	30.1	17.1	16.3	19.2	19.8	21.0
	気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	21.7	20.8	23.9	26.9	11.6	19.5	22.7	24.0	25.9
	乳房の悪性新生物 (再掲)	11.8	13.5	11.8	31.9	7.2	9.4	16.5	16.5	20.3
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	30.0	34.0	26.9	13.2	15.2	19.9	37.9	38.1	39.9
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	29.4	26.2	32.7	5.9	22.8	19.2	37.4	39.7	43.7
	糖尿病 (再掲)	36.1	29.4	44.8	14.2	41.6	21.3	47.6	54.1	66.3
	高脂血症 (再掲)	21.2	12.5	28.1	55.7	1.7	5.7	42.4	46.4	58.8
V	精神及び行動の障害	296.1	337.5	262.4	27.7	60.3	236.2	501.6	492.8	445.3
	血管性及び詳細不明の認知症 (再掲)	359.2	302.5	400.2	-	466.7	255.2	364.7	365.5	382.5
	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 (再掲)	561.1	659.0	479.2	86.6	104.8	374.9	1 403.2	1 559.8	1 606.3
VI	神経系の疾患	76.2	63.8	90.9	17.9	31.6	55.8	105.4	112.0	122.9
	アルツハイマー病 (再掲)	236.3	211.5	249.7	-	-	177.1	237.6	233.5	235.9
VII	眼及び付属器の疾患	5.3	5.6	5.0	3.9	11.5	5.9	5.0	4.7	4.7
VIII	耳及び乳様突起の疾患	8.2	7.4	8.7	4.8	9.3	7.2	9.4	9.9	11.3
IX	循環器系の疾患	45.3	34.4	59.8	15.1	18.4	23.3	53.5	58.1	66.3
	高血圧性疾患 (再掲)	41.2	35.1	44.2	9.4	9.6	13.0	48.5	51.4	54.9
	心疾患(高血圧性のものを除く) (再掲)	21.9	14.6	32.8	15.9	24.7	9.2	26.1	29.1	34.5
	脳血管疾患 (再掲)	93.0	76.2	112.2	23.2	30.6	55.4	104.4	109.8	120.5
X	呼吸器系の疾患	26.5	24.2	29.5	5.3	7.7	16.4	41.7	42.7	44.2
	喘息 (再掲)	12.7	8.9	17.2	4.8	5.4	9.2	40.4	44.4	51.7
X I	消化器系の疾患	12.9	11.7	14.5	4.9	7.7	10.5	15.8	16.9	18.7
	う蝕 (再掲)	15.4	23.4	5.4	1.0	2.6	45.4	10.4	10.1	10.5
	歯肉炎及び歯周疾患 (再掲)	4.0	4.0	4.0	2.3	2.2	4.7	6.5	3.7	3.3
	食道、胃及び十二指腸の疾患 (再掲)	15.9	14.1	18.3	7.9	6.8	10.7	19.7	20.5	21.8
	肝疾患 (再掲)	27.4	26.0	29.1	13.5	11.8	22.8	32.0	34.7	38.3
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	26.8	24.3	29.3	6.4	10.0	19.0	34.8	36.1	37.9
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	32.2	27.1	35.8	14.0	13.7	22.4	40.8	43.9	49.6
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	22.1	22.6	21.6	9.0	6.0	13.0	31.2	33.5	35.7
X V	妊娠、分娩及び産じょく	8.0	-	8.0	7.0	7.9	8.4	-	-	-
X VI	周産期に発生した病態	11.4	11.6	11.2	11.4	10.8	-	8.0	8.0	-
X VII	先天奇形、変形及び染色体異常	16.5	16.1	17.0	15.1	12.1	21.7	27.7	30.5	32.8
X VIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	19.7	16.8	22.0	6.0	8.5	10.2	26.7	28.7	31.1
X IX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	33.4	26.6	39.4	5.9	12.6	21.6	46.7	48.6	50.3
	骨折 (再掲)	41.1	29.9	47.9	6.3	13.9	25.6	52.1	54.0	55.7
X X I	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	7.4	5.7	8.3	5.6	5.8	5.0	17.2	19.7	22.6

注：1) 平成23年9月1日～30日に退院した者を対象としたものである。
 2) 総数には、年齢不詳を含む。
 3) 宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。

(3) 都道府県別

病院の退院患者の平均在院日数を都道府県（施設所在地）別にみると、「高知」が54.7日と最も長く、「神奈川」が25.5日と最も短くなっている。一般病床では、「徳島」及び「高知」が24.2日と最も長く、「神奈川」が15.9日と最も短くなっている。（図4）

図4 都道府県（施設所在地）別にみた病院の退院患者の平均在院日数

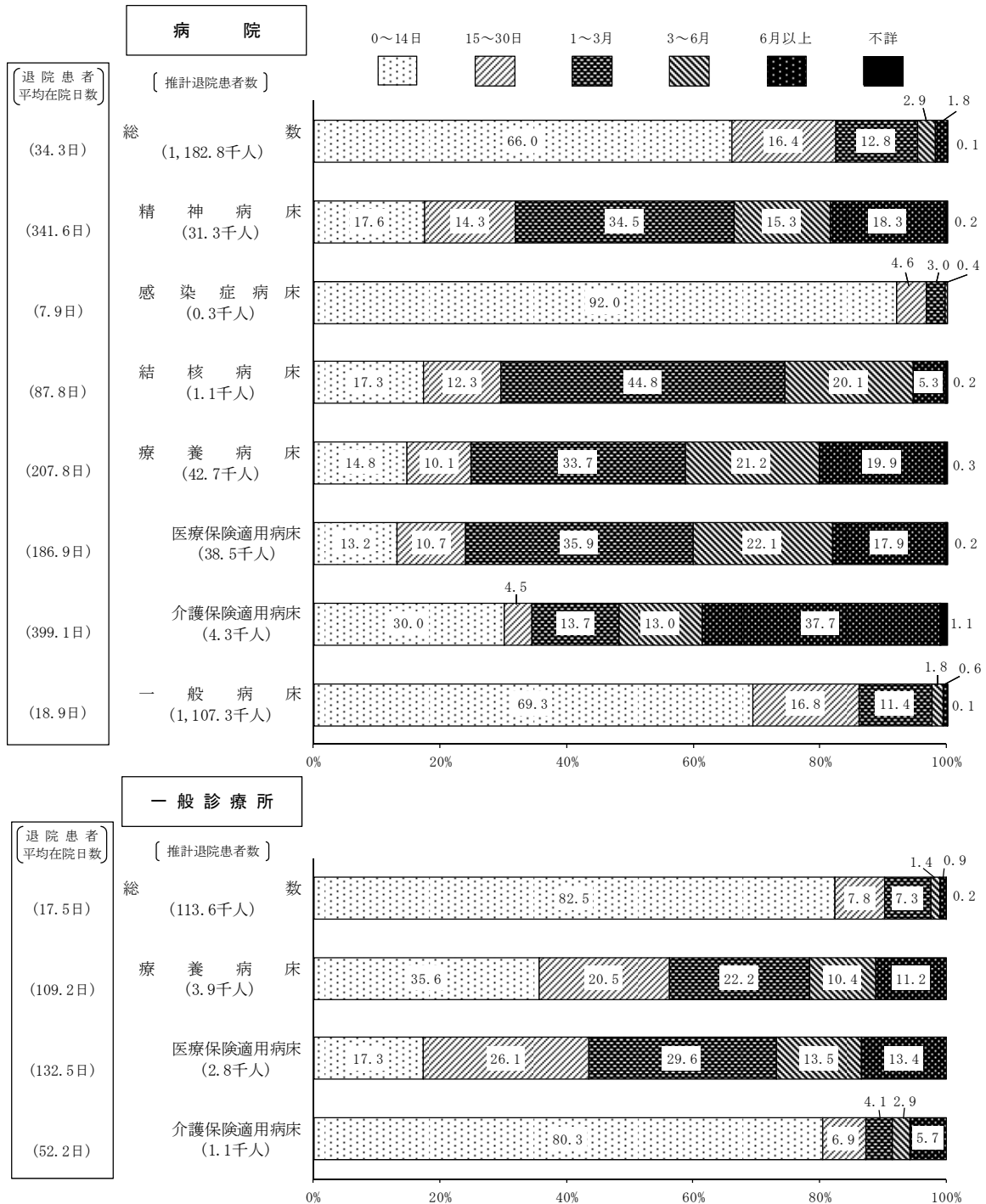


注：1）平成23年9月1日～30日に退院した者を対象としたものである。
 2）宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。

(4) 病床の種類別

退院患者の在院期間別に推計退院患者数の構成割合をみると、病院は「0～14日」が66.0%、「15～30日」16.4%、一般診療所は「0～14日」が82.5%、「15～30日」7.8%となっている（図5）。

図5 病床の種類別にみた在院期間別の推計退院患者数の構成割合

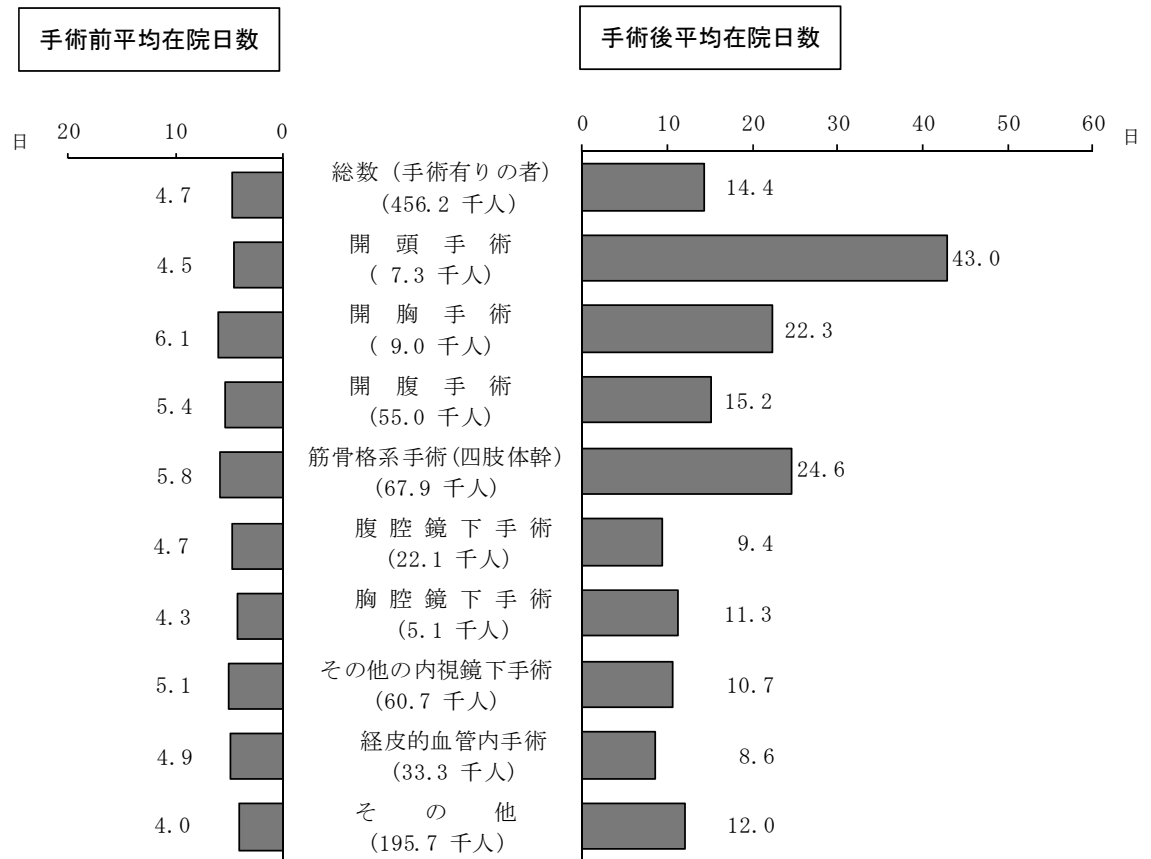


注：1) 平成23年9月1日～30日に退院した者を対象としたものである。
 2) 病床の種類は退院時のものである。
 3) 宮城県、石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。平成20年の同地域を除いた「退院患者平均在院日数」の数値は、35頁の参考表8に掲載している。

(5) 手術前平均在院日数・手術後平均在院日数

平成23年9月中に退院した患者のうち手術有りの者についてみると、手術前平均在院日数は4.7日であり、「開胸手術」6.1日が最も長く、「胸腔鏡下手術」4.3日が最も短くなっている。手術後平均在院日数は14.4日であり、「開頭手術」43.0日が最も長く、「経皮的血管内手術」8.6日が最も短くなっている（図6）。

図6 手術名別にみた手術前平均在院日数・手術後平均在院日数



- 注：1) 平成23年9月1日～30日に退院した者を対象としたものである。
 2) 「開頭手術」とは、頭蓋骨を広範囲に開窓する方法により行われる外科手術をいう。
 3) 「開胸手術」とは、胸壁を切開し胸腔に達する方法により行われる外科手術をいう。
 4) 「開腹手術」とは、腹壁を切開し腹腔に達する方法により行われる外科手術をいう。ただし、開胸開腹手術については開胸手術としている。
 5) 「筋骨格系手術」とは、四肢体幹を切開し、筋、腱、関節、骨、神経に達する方法により行われる外科手術をいう。
 6) 「腹腔鏡下手術」とは、腹腔鏡を用いた外科手術をいう（腹腔鏡下胆嚢摘除術、腹腔鏡下婦人科手術等）。
 7) 「胸腔鏡下手術」とは、胸腔鏡を用いた外科手術をいう（胸腔鏡下肺切除術、胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術等）。
 8) 「その他の内視鏡下手術」とは、腹腔鏡下手術、胸腔鏡下手術以外の内視鏡、ファイバースコープを用いた外科手術をいう。
 9) 「経皮的血管内手術」とは、不安定狭心症や閉塞性動脈硬化症に対してカテーテルを用いて行う血管内治療をいう。
 10) 「その他」とは、上記2)～9)以外の外科手術をいう。
 11) 宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。

4 主な傷病の総患者数

主な傷病についての全国（宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除く。）の総患者数は、「悪性新生物」1,526千人、「糖尿病」2,700千人、「高脂血症」1,886千人、「高血圧性疾患」9,067千人、「心疾患（高血圧性のものを除く）」1,612千人、「脳血管疾患」1,235千人となっている（表11、統計表13）。

表11 主な傷病の総患者数

(単位：千人) 平成23年10月

主な傷病	総数	男	女
結核	26	14	12
ウイルス肝炎	206	98	108
悪性新生物	1 526	830	695
胃の悪性新生物	186	123	63
結腸及び直腸の悪性新生物	233	132	101
肝及び肝内胆管の悪性新生物	52	36	17
気管、気管支及び肺の悪性新生物	138	88	50
乳房の悪性新生物	194	2	192
糖尿病	2 700	1 487	1 215
高脂血症	1 886	525	1 361
血管性及び詳細不明の認知症	146	43	103
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	713	354	360
アルツハイマー病	366	104	262
高血圧性疾患	9 067	3 822	5 259
心疾患（高血圧性のものを除く）	1 612	882	734
脳血管疾患	1 235	616	620
喘息	1 045	521	523
う蝕	1 945	828	1 117
歯肉炎及び歯周疾患	2 657	1 084	1 572
食道、胃及び十二指腸の疾患	1 246	526	720
肝疾患	276	142	133
骨折	542	208	334

注：1）総患者数は、表章単位ごとの平均診療間隔を用いて算出するため、男と女の合計が総数に合わない場合がある。

2）宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。平成20年の同地域を除いた数値は、35頁の参考表9に掲載している。

※ 総患者数（傷病別推計）とは

総患者数とは、調査日現在において、継続的に医療を受けている者（調査日には医療施設で受療していない者を含む。）の数を次の算式により推計したものである。

$$\text{総患者数} = \text{入院患者数} + \text{初診外来患者数} + (\text{再来外来患者数} \times \text{平均診療間隔} \times \text{調整係数}(6/7))$$

